

筑豊でリフレッシュを

東日本大震災被災者支援 空き家、サポーター募集

飯塚市の市民らが東日本大震災の被災者支援団体「ツナガッター」を設立した。東京電力福島第一原発事故の影響を心配しながら被災地に住む親子に、筑豊に短期滞在しリフレッシュしてもらおうことが目的。活動に賛同するサポーターや、受け入れのための家を探している。

飯塚で支援団体設立

団体によると、飯塚市など筑豊地方で2、3組の家族が短期滞在できるようなゲストハウスの運営を目指す。無償で借りられる家を探すといい。また、放

・飯塚市に転居した。原発などの勉強会を定期的に開き「関東でも汚染が深刻な場所があり、子どもを外で遊ばせるのは危険。避難を考えている人にとっ

射能を恐れ、普段は野外で遊べない子どもたちが野外で遊んだり、親子で農業体験ができるようなイベントも開くという。

水功也さん(36)は震災時、東京の大学で非常勤講師をしていた。当時、妻の亜矢さん(31)は妊娠中。原発事故の影響を恐れて仕事を辞め、亜矢さんの出身地

場所があることは、心強いこと」と話す。呼びかけ人の四宮都也子さん(37)は飯塚市には「福島県に限らず、不安を抱えて生活して



震災被災者受け入れへの支援を呼びかける「ツナガッター」のメンバーら

いる親子にぜひ遊びに来てほしい」と話している。活動に賛同するサポーターや、活動を支援する会員(年会費3000

0円)、スポンサーも募集している。問い合わせは四宮さん090・8720・5729。メールはmail@tsunagattee.com nagateau.com

資料館 110点展示

だ炭鉱関連資料

鉱関連資料約110点の展示を開催中だ。国連教育科学文化機関(ユネスコ)の世界記憶遺産に作品が登録された故山本作兵衛の水彩画1点も含まれている。4月22日まで。

九州歴史資料館による「治美所長」の年長組の飯塚市立菰田保育所(同市菰田西、大久保所)に持ってこられるようになったという。45歳入

ボトルキャップのリサイクルに協力

飯塚・菰田保育所年長組16人



入れる子供たち

11日、飯塚で支援イベント 七輪ホルモンで元気に

筑豊の芸術家で作るNPO「アイアートレボ」と、筑豊をPRするグループ「TEAM TONCHAN」は11日、飯塚市本町のえいらく広場でホルモンとアートを楽しむイベント「ホルタマ」を開く。午前11時から午後4時まで。東日本大震災1年を受け、被災地支援イベントと位置

焼いて楽しむほか、田川ホルモン喰楽歩(くらぶ)のホルモン鍋や、飯塚伝説ホルモンのホルモンチャーハンも出店する。主催者らは「七輪の煙が漂う昭和の街の雰囲気の中で、ホルモンを味わいましょう」とPR。七輪は有料で貸し出すほか、持参者にはホルモン1人前をサービスする。

「陳... 運用 県議 が中央 され 旅費